

2014年10月26日 主日礼拝

司 会 ①梅津兄 ②藤樫兄 ③小嶋兄

奏 楽

祈 禱 ①川村師 ②久保田兄

賛 美 聖歌232番「罪とがをゆるされ、神の子となりたる」
(主我を愛す)(栄光の雲が宮に満ちて)

ヤベツの祈り

聖 書 ① マルコによる福音書2章21～22節 (P54)
②③テモテへの第一の手紙2章1～5節 (P328)

音 楽 ①②北島美佐子姉(白鳥直美姉)
③ 「コンセル・アミ」

証 詞 ① 鈴木静香姉(ルツ会)

メッセージ ① 「心のストレッチ」 佐々木智行伝道師
②③「神様はあなたに夢中です」 大川従道牧師
(God is crazy about you!)

賛 美 「人生の海のあらしに」 (472番・献金)

頌 栄 ハレルヤ!

祝 禱

「ただ、ひとりも滅びることがなく、
すべての者が悔改めに至ることを望み、
あなたがたに対してながく忍耐しておられるのである。」
(コヘテロ三の九b)

【大和コース】

- * 本日演奏して下さる「コンセル・アミ」の皆様にご感謝！大歓迎！指揮と独唱は坂本貴輝先生。コンサートは午後2時から、泉会堂にて。入場無料。
- ・ 本日「礼拝準備会」(9時)、手話、アブラハム会、J. Plus、役員会(13:45)あり。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！説教は坪井副牧師。水曜夜と木曜朝。
* 転入会者を歓迎します。①熊谷茂兄(バルナバ会)②熊谷三千子姉(ドルカス会)
③岡崎龍夫兄(アブラハム会)④岡崎文栄姉(ドルカス会)⑤岡崎万菜姉(青年会)
⑥宮澤みゆき姉(ハンナ会) ☆ルツ会は木曜昼食後。3階。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は丸藤伝道師。
- ・ 土曜祈禱会は、土曜夕方6時～7時。熱く祈ります！
- ・ クリスマンキッズの会は土曜朝9時半。森チャペルにて。

石の枕

これは私が心にとどめている「言語の魅力」について語られた、司馬遼太郎氏の文章である。(さすがは、司馬さん！と言える身分ではないが…)

言語は、ひとりごとである場合以外は、他者のものである。聴かされる側にとって、自分の時間と体力と、それに相手の言語が喚起する想像力という三つのエネルギーを話し手に提供しているのである。魅了のない言語は、拷問に等しい。(拷問に耐えておられる？信徒の皆様を尊敬しております。)

しかも人間は、言語こそこの世の魅力の最高のものだ、とだれもが意識の底で思っている。乳幼児は言語こそ発せられないが、絶えず母親の言葉によって、聴覚を通し大脳に快く刺激を受け続けている。人間が最初に出会う『芸術』が絵画でも音楽でもなく、言語なのである。

やがて幼児が言語の意味を解するようになると(言語によって想像力を喚起されるようになると)、母親が話してくれるおとぎ噺に、宇宙の輝きと同質のものを感じてしまう。

三遊亭円朝は、幕末から明治中期にかけての噺家で、不世出の天才だったらしい。創作もした。

彼の生涯で、山岡鉄舟との出会いは大きい。

鉄舟は、自分は幼いころ寝床の中で母親から桃太郎の噺を聞いたが、この歳になってそのおもしろさが忘れられない。ぜひしてもらいたい。

円朝は大いに怖れ、とても自分には先生の母君が幼い感受性に与えたような能力がない、と断った。請うた側も断った方も、言語における魅力とは何かを知り抜いていたのだ。

私の言いたいのは、言語の本質論ではなく、方法論である。話し手の正直さこそが、言語における魅力をつくり出すということである。それが唯一の条件にすぎない。練度の高い正直さは、ユーモアを生み、相手との間を水平にし、安堵を与え、言語を魅力的にする。エペソ人への手紙6章19節。

日曜礼拝は、この「話し手の正直さ」と「聴き手の正直さ」との激しいぶつかり合いである。そこには聖霊さまによる火花がある。まことに美しい！ある意味で音楽の世界にもそれが言える。本日午後のコンサートが楽しみである！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: I テモテ6章～テトス2章 Bコース: エレミヤ17章～32章